

# 環境マネジメント

当社グループは持続可能な社会の実現に向け、環境ビジョンに基づき、グループ全体で環境活動を推進しています。

## グローリー環境ビジョン

### 環境ビジョン

環境負荷の低減と地球資源の保護をグローバルに展開し、地球環境の“確かな未来”に貢献します

当社グループは“GLORY GREEN CHALLENGE みんなの力と技術で導く豊かな地球”を環境スローガンとし、2010年、環境ビジョンを掲げました。このビジョンに基づき、2018年4月からの3カ年を計画期間とした「2020中期環境計画」を策定し、その達成に向けた取り組みを展開しています。

## グローリーグループ環境方針

私たちは地球にやさしい行動と環境に配慮した製品・サービスを提供し、持続可能な社会の実現に貢献します

### 1. 法令等の遵守

環境法規制やステークホルダーからの要求事項を遵守する。

### 2. 地球温暖化の防止

エネルギーの使用を削減し、温室効果ガス排出の低減に努める。

### 3. 資源循環の推進

資源の有効な利用に努め、製品の回収・リサイクルを推進する。

### 4. 化学物質による汚染の予防

化学物質を適正に管理し、製品の有害物質を削減する。

### 5. 生物多様性の保全

地域貢献活動を通じて、一人ひとりが生態系の保全に努める。

### 6. 環境情報の適正な開示

情報開示を積極的に行い、ステークホルダーの要望に応える。

本方針を実現するため、環境目標を定めて取り組み、継続的な改善を図る。

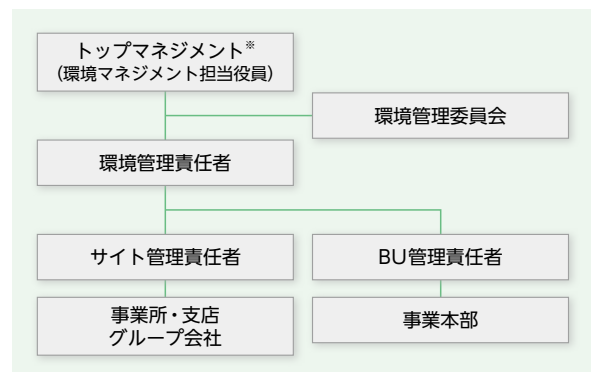
## 環境マネジメント体制

当社グループは、環境保全を経営の重要な一要素と考え、事業活動のあらゆる局面で環境への負荷を削減するために、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを導入し、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、化学物質の適正管理から環境配慮型製品の開発まで幅広く取り組んでいます。

2002年3月に本社・本社工場がISO14001の認証を取得したことをはじめ、現在その対象範囲を当社の主要事業所・支店および製造系グループ会社に広げています。さらに、海外のグループ会社においても認証を取得し、包括的な環境負荷低減に努めています。

環境マネジメント体制は、事業活動の環境負荷低減に取り組む「サイト」と製品の環境負荷低減に取り組む「BU(ビジネスユニット)」で構成されています。経営基本方針や環境方針と連携した年度ごとの環境管理活動方針を策定し、環境管理体制をはじめ、製品・サービスなどあらゆる事業活動においてマネジメントシステムの充実と継続的改善に努めています。また、「環境管理委員会」の設置やマネジメントレビューの実施により、環境管理活動方針の各サイト・BUへの展開と実施状況の確認、環境問題・対策内容の共有と水平展開を図るなど、グループ一体となりPDCAサイクルを回して事業と一体化した活動に取り組んでいます。さらに、グループの環境管理を担当するため、環境管理部門を設置し、グループ全体の環境マネジメントシステムの維持・改善を図っています。

### 環境マネジメント体制



※ 環境マネジメントシステムの最高責任者で、社長より、環境マネジメントシステムの推進と維持に関するすべての権限と責任を委嘱された環境マネジメント担当役員。



## 環境監査

当社では、ISO14001 認証取得拠点を対象に、内部監査および認証機関による外部審査を品質 (ISO9001) と合わせた統合審査として実施しています。

内部監査では、規格の適合性ととも、騒音や水質などの環境規制値の遵守や行政への届出状況をはじめとした遵法の確認などを中心に行い、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めています。2018年度の内部監査では、2015年版規格の運用状況に対する適合性と有効性の確認を実施し、不適合は発見されませんでした。外部審査においても、不適合はありませんでした。監査・審査結果は、当社グループ内で水平展開し全社員が共有することで、活動のボトムアップを図っています。

## 環境リスクマネジメント

当社は、環境リスクを低減するために年1回、環境影響評価 (アセスメント) を行い、特定したリスクへの対応手順を定めています。中でも、「産業廃棄物の適正処理」、「危険物の管理」を重視し、社内体制の構築や社員教育を徹底しています。

産業廃棄物の適正処理については、各拠点に廃棄物管理体制を構築し、管理者や担当者への教育を徹底するとともに、廃棄物処理委託業者の選定に厳格な基準を設け、現地調査を行うなどの運用を行っています。

また、危険物の管理については、油の流出事故を想定した緊急時の対応手順を規定する他、模擬訓練を定期的実施しています。

## 環境関連法令の遵守

当社は、法令遵守を環境保全活動における重点項目の一つと位置づけ、運用管理を徹底しています。定期的に法規制の変更点を確認するとともに、年2回、法令の遵守状況の確認を行っています。また、内部環境監査でも専用のチェックシートに基づき、各事業所での現地確認を行っています。その他、製品含有化学物質管理についてもお取引先さまや海外グループ会社の監査を定期的に行っています。

2018年度の遵守確認の結果、重大な法令違反や環境に影響を与える事故は発生していません。

## 環境教育

当社は、継続的な環境負荷の削減を図るためには、事業と環境との関わりや影響を正しく理解することが重要であると考え、環境教育に注力しています。

新入社員研修において環境マネジメントシステムの要求事項などを学ぶ他、新任の管理者を対象としたマネジメント研修や設計者を対象とした環境配慮設計に関する研修など、職制に応じた教育も実施しています。また、内部監査員研修や廃棄物管理者研修などを実施し、専門性を高めています。

加えて、常駐するお取引先さまを含む全従業員に対し、環境活動についての各人の認識を高めるための周知を行うなど、環境意識の向上を図る啓発活動にも取り組んでいます。

### TOPIC

## 「OUTSTANDING ENVIRONMENTAL PERFORMERS」を受賞

GLORY (PHILIPPINES), INC. では、事業活動における環境負荷の低減に向け、電力量や水使用量、廃棄物の削減に積極的に取り組んでいます。毎月実績を管理し、目標値に達しない場合は是正処置を行っています。また、会社周辺の清掃活動に加え、河川清掃や植樹イベントに参加するなど、生物多様性保全に向けた活動も推進しています。これらの活動が評価され、2019年5月、PEZA\*より2度目の「OUTSTANDING ENVIRONMENTAL PERFORMERS」を受賞しました。

\* PEZA: Philippine Economic Zone Authority (フィリピン経済特区庁)



授賞式の様子

## 環境に配慮した製品の開発

資材調達からお客様の製品使用、廃棄までを踏まえた製品のライフサイクルにおける環境負荷の低減に向け、環境に配慮した製品の開発に取り組んでいます。

### 環境配慮型製品の開発

当社グループは、低炭素社会を実現し、より継続的な環境保全活動に取り組むため、製品使用時のCO<sub>2</sub>排出量を2030年に2005年比30%削減することを長期目標に掲げ、環境配慮型製品の開発に取り組んでいます。お客様の要望に応じてライフサイクルアセスメント(LCA)を実施し、資材調達からお客様の製品使用、廃棄までを踏まえた製品のライフサイクルの全段階で環境影響を評価しています。

新製品開発時には、「省エネルギー性」や「再利用、再資源化」など約60項目からなる製品アセスメントを実施し、環境影響を従来製品と比較評価しています。このアセスメントにより、「消費電力量低減率15%以上」「製品含有化学物質規制対応」など、当社独自の基準を満たした製品を「G-エコ製品」として認定しています。

2018年度に開発した新製品の約44%が「G-エコ製品」として認定されており、海外市場向けつり銭機<CI-5>は、従来機に比べて使用時の消費電力量を紙幣部は約40%、硬貨部は約25%削減しました。加えて、リサイクル可能率は、紙幣部は約91%、硬貨部は約89%を達成しています。



海外市場向けつり銭機<CI-5>  
(左：硬貨部 右：紙幣部)

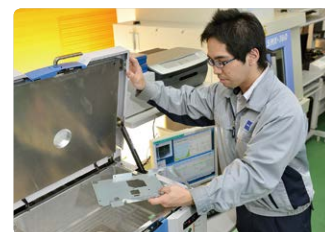
### 製品含有化学物質の管理

当社は、RoHS指令やREACH規則、その他の法規制で規制されている物質を「グローリー指定化学物質リスト」に指定し、グリーン調達基準において使用の禁止を定め、製品に含有される化学物質の管理を実施しています。

製品の構成部材の選定時に、化学物質規制の適合品であることを確認する他、部材が納入された際は、蛍光X線分析装置で厳密な検査を行っています。また、化学物質含有量を調査し、化学物質管理システムに登録することで、製品全体の含有量が容易に集計できるようにし

ています。さらに、新製品出荷時にはすべての製品が関連する規制に適合しているかを検査しています。

化学物質の管理には、お取引先さまのご協力が不可欠です。国内外のお取引先さまには、当社のグリーン調達基準に準拠した部材を納入いただくとともに、グリーン調達に関する覚書を締結し、含有化学物質の情報提供をお願いしています。



部品の含有化学物質検査

### 環境に配慮したメンテナンス用品の開発

当社は、環境に配慮したメンテナンス製品として、エアダスター<リサイクルジェット>を開発しました。本製品は、電気製品や精密機器に付着したゴミやホコリを除去するエコ・メンテナンス製品です。エアダスターによく使われている代替フロンを使用せず、産業副産物として回収された炭酸ガス(CO<sub>2</sub>)を噴射ガスとして充填しています。これにより、地球温暖化係数が既存品に比べ約1,430分の1となり、地球温暖化防止につながります。炭酸ガスは不燃性のため引火の危険性もなく、安全性にも配慮されています。加えて、ポンペを着脱式にし再利用可能にしたことで、廃棄物の削減も図ることができます。

また、全国100カ所以上の保守拠点網を活用し、テクニカルスタッフが日常の保守作業時に使用済みポンペを回収した後、提携している炭酸ガス充填工場で再充填する独自の循環型スキームを構築することで、循環型社会の実現に貢献しています。

2018年度の充填本数は約6万本で、約3万tのCO<sub>2</sub>排出量削減につながっています。



リサイクルジェット  
使用例



リサイクルジェット

# 事業活動に伴う環境負荷低減



CO<sub>2</sub>排出量の削減、化学物質の管理、資源の有効活用などを通じて、地球環境の保全と環境負荷の低減に向けた取り組みを継続的に行っています。

Environment

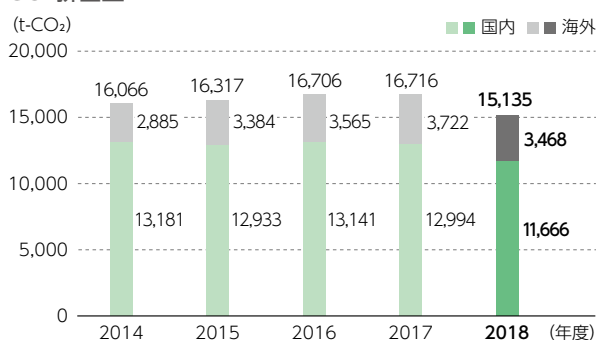
## 地球温暖化の防止

当社は、地球温暖化の防止を環境ビジョンの活動テーマの一つに掲げ、CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取り組みを推進しています。

その一環として、高効率タイプの生産設備を導入し、生産工程におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。また、電力監視システム(デマンド監視機能)やLED照明、人感センサーの導入などを進めるとともに、本社社屋の屋上に太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギーを積極的に利用しています。

他にも、輸送時における環境負荷低減に向け、トラック輸送から鉄道や海上コンテナに切り替えるモーダルシフトの推進や配送方法の効率化、梱包材の軽量化などに取り組んでいます。

### CO<sub>2</sub>排出量

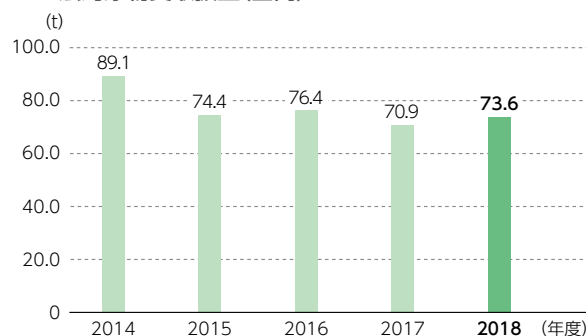


※1 国内のISO14001認証取得拠点を対象としています。  
 ※2 次の海外のISO14001認証取得拠点を対象としています。  
 光栄電子工業(蘇州)有限公司、GLORY (PHILIPPINES), INC.  
 Glory Global Solutions (France) S.A.S.  
 Glory Global Solutions (Germany) GmbH  
 Glory Global Solutions Inc.

## 化学物質の管理・削減

当社は、生産工程で使用する化学物質の管理を徹底するとともに、人体に影響の少ない化学物質への転換を進めています。製造部門では、化学物質の使用量を管理し年2回報告している他、化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)対象物質を含む化学製品を使用する社員には、取り扱いに関する教育を実施しています。また、化学物質安全データシート(SDS)を常備し、社員が、取り扱いに関する注意事項や非常時の対応手順を随時確認できるようにしています。

### PRTR法対象物質取扱量(国内)



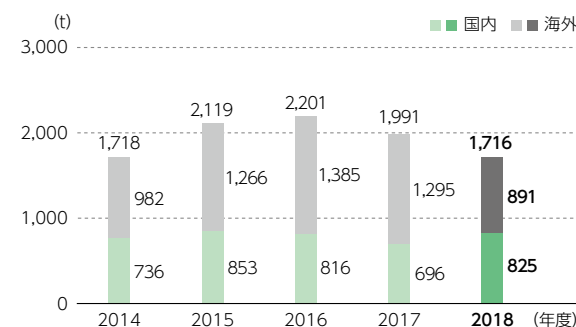
※ 国内のISO14001認証取得拠点を対象としています。

## 資源の有効活用

当社は、循環型社会を構築するため、3R(リデュース・リユース・リサイクル)に関する取り組みを推進しています。

資源を有効に活用するため、生産工程での改善を図り、部品製造時の歩留まり率の改善やトライ回数の削減などによって原材料の使用量を削減しています。また、生産現場やオフィスにおいてペーパーレス活動にも取り組んでいます。取引先からの部品納入時には、通い箱を使用し梱包材を削減している他、緩衝材をグループ内の部品輸送時に再利用しています。廃棄時は、より多くの廃棄物を再資源化するために分別を徹底するとともに、再資源化率99.5%以上をゼロエミッションと定め、生産拠点での達成を目指しています。

### 廃棄物排出量



※1 国内のISO14001認証取得拠点を対象としています。  
 ※2 次の海外のISO14001認証取得拠点を対象としています。  
 光栄電子工業(蘇州)有限公司、GLORY (PHILIPPINES), INC.  
 Glory Global Solutions (France) S.A.S.  
 Glory Global Solutions (Germany) GmbH  
 Glory Global Solutions Inc.



## 生物多様性の保全

地域社会やNPO法人をはじめとしたステークホルダーと連携し、生物多様性の保全に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。

### 「グローリー夢咲きの森」における活動

当社は2011年に兵庫県、姫路市、兵庫県緑化推進協会と「企業の森づくり活動への取り組みに関する協定」を締結し、兵庫県姫路市夢前町にて、森林整備活動に取り組んでいます。活動地は、「夢が咲く希望のある森になるように」との願いを込めて、社内公募により「グローリー夢咲きの森」と名付けました。

毎年春から初夏にかけて、森林整備活動を実施しています。下層の植物の生育を促すため、森林組合と協働し、ヒノキ林や広葉樹林内で除間伐を年1haずつ行っています。また、ヤマザクラやコナラなどの在来種を植樹し種の保全を行うなど、良好な里山としての環境を形成することにより、豊かな自然環境を再生・維持することを目指しています。

2018年度は4月に森林整備活動を開催し、当社グループ社員やお取引先さまおよびその家族、83名が活動に参加しました。



リンゴの木を植樹

### 植生調査

「グローリー夢咲きの森」における生物多様性の保全に対する効果を科学的に検証するため、植物の種類や生育状況を調べる植生調査や生物調査を専門家と協同で実施しています。これまでに実施した生物調査では、兵庫県版レッドデータブックに記載されている希少種のキツキやカエルが生息していることも確認されました。調査は継続的に実施し、森林整備の効果を検証していくとともに、今後の活動方針の検討に役立てていきます。



ヒノキ林内での植生調査の様子

### 次世代育成への取り組み

毎年秋には、自然体験イベント「子ども自然まなび隊」を開催しています。親子で森にいる昆虫や植物な

どを観察しながら散策したり、自然の中で楽しめる趣向を凝らしたプログラムを実施するなど、自然の大切さを次世代に伝えていく活動を行っています。

2018年度は10月に開催し、当社グループ社員やお取引先さまおよびその家族、94名が参加しました。



「森のランタン」作りに挑戦

### 関東地域における活動

2013年度より、関東地域まで活動範囲を広げ、NPO法人と連携し、生物多様性保全活動に取り組んでいます。

2017年度からは、特別緑地保全地域として指定されている東京都八王子市での里山再生プロジェクトに参加し、森林整備活動を行っています。また、東京都荒川河川敷において清掃活動を実施し、併せて生物多様性について学ぶ機会を設けるなど、環境保全に向けた活動を推進しています。

2018年度は、当社グループ社員やお取引先さまおよびその家族、延べ82名が活動に参加しました。



東京都八王子市での森林整備活動の様子

### 各地域における主な活動

会社名	活動内容
GLORY (PHILIPPINES), INC.	●植樹イベント「Adopt-A-Tree Park Program」への参加 ●フィリピン・カヴィテ州ロザリオ地区における海の再生プロジェクトへの参加(リーフパッドの寄付)
グローリープロダクツ株式会社・佐用工場	自然環境保全や生物多様性向上を目指したビオトープの造成
グローリーエンジニアリング株式会社	多様で豊かな森づくりを目指した「高尾の森植樹祭」への参加

# 2020中期環境計画



「2020中期環境計画」を策定し、達成に向けた取り組みを展開しています。

Environment

## 2020中期環境計画 目標と実績

環境ビジョンに基づき、「製品」「事業」「意識」の3つの分野を活動の柱とし、「地球温暖化の防止」や「化学物質の管理・削減」、「資源の有効活用」、「生物多様性の保全」を活動テーマとして掲げ、2018年4月からの3カ年を計画期間とした「2020中期環境計画」を策定し、グループ全体で取り組みを進めています。

活動分野	活動テーマ	2020中期環境目標	2018年度目標	2018年度実績
製品	地球温暖化の防止	新製品のCO <sub>2</sub> 排出量の削減	新規開発製品の省エネ(従来機比)15%以上削減	平均16.1%削減 (32機種のうち14機種で目標達成 G-エコ製品に認定)
	化学物質の管理・削減	全新製品のRoHS指令適合	法令遵守100%	32機種がRoHS対応(適合率=100%達成)
事業	地球温暖化の防止	製品売上高に占める環境配慮型製品比率の向上	全製品売上高比率60%以上	売上高比率 73.0%
		エネルギー消費量従業者原単位の改善	原単位年平均1%削減(2010年度基準)	エネルギー消費量従業者原単位年平均2.2%削減(2010年度基準)
	化学物質の管理・削減	化学物質管理の徹底	化学物質収支管理PRTR法の規制物質の削減	工程化学製品取扱量記録 5月集計PRTR取扱量(第一種)微減(1%)
	資源の有効活用	廃棄物排出量の削減	排出量年平均1%削減(2010年度基準)	廃棄物排出量 年平均1.5%削減(2010年度基準)
意識	生物多様性の保全	生物多様性保全への貢献度向上(管理項目の改善)	<ul style="list-style-type: none"> <li>植樹20本</li> <li>間伐1ha/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姫路：森林整備活動 4月 (シンボルツリーの植樹、リンゴ苗木の植樹20本、間伐1ha) 家族向け自然体験イベント 10月</li> <li>関東：東京都八王子での森林整備活動 5月 東京都荒川河川敷清掃活動 10月</li> </ul>
		ステークホルダーとの協働による生物多様性保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画立案</li> <li>活動実施(活動実施率100%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次活動計画の実施率 100%</li> <li>姫路：「グローリー夢咲きの森」 森林整備活動 83名 (お取引先さまの参加 3社16名) 家族向け自然体験イベント 94名 (お取引先さまの参加 1社9名)</li> <li>関東：「東京都八王子市上川の里(特別緑地保全地域)」 森林整備活動 54名 (お取引先さまの参加 1社3名) 「東京都荒川河川敷」 河川敷清掃活動 28名</li> </ul>
	コミュニケーション	CSR報告書・ウェブサイトでの環境情報開示	記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSR報告書2018、ウェブサイトへの掲載(事業活動に伴う環境負荷低減データなど)</li> <li>CDP、日経環境経営度調査への回答</li> </ul>